

目 次

新版序	
序	
前書き	1
第1章 整数	7
§1. 整数の公理	7
§2. 一般定理	10
§3. 無限列としての整数	15
§4. 加 法	18
§5. 乗 法	23
§6. 無限列の範疇性	27
§7. 自然数, 正負の整数	29
§8. 物の数, 計量数	30
§9. 無限集合	32
§10. 環	34
第2章 有理数	39
§11. 有理数の四則	39
§12. 有理数の符号と大小の順序	45
§13. 有理数の集合	47
第3章 実 数	51
§14. 連続集合	51
§15. 連続集合に関する一般的の定理	57

§ 16.	加法公理	62
§ 17.	実数の概念	65
§ 18.	数列の収斂	71
§ 19.	乗法・除法	73
§ 20.	十進法による実数の表現	77
§ 21.	実数体系の特徴	81
附 録		89
§ 22.	カントル, メレーの実数論	89
§ 23.	巾根について	92
§ 24.	加法公理の幾何学的の意味	94
§ 25.	連続公理と加法公理との交渉	99
補 遺		104

